



3つ目の幸せについて

校長 笠原道宏

幸せには3つの種類があるそうです。

1つ目は、誰かに何かをしてもらう幸せ

2つ目は、自分ができるようになる幸せ

3つ目は、誰かに何かをしてあげる幸せ



3つ目の幸せについて「してあげる」…という、なんだか上から目線のように感じる方もいるかもしれませんが、言い換えれば「人の役に立つ幸せ」「人に貢献できる幸せ」ということなのだと思います。少し前の写真ですが6年生が、入学したての1年生の下校準備を手伝う姿を見つけました。荒浜小学校では、誰かのために自分が役に立っていることを実感できる時間を大切にしています。あなたのおかげで、助かっている人がいる、気持ちよく過ごせた人がいるということを語りかけ、その子の自己肯定感が高まっていくように願っています。

これから学校生活は後半戦となり、バトンタッチの時期を迎えます。上学年より以前「してもらった幸せ」が、下学年に対しての「してあげる幸せ」として引き継がれていくことを全校で目指していきます。

保護者と子どもたちへのお願い・お知らせ

学校では教職員の働き方改革に取り組んでいます。子どもたちが下校した後は、多くの業務がありますが、それぞれに優先順位を設け、効率よく進むよう心掛けています。しかしながら、多くの電話連絡や授業準備への対応で、どうがんばっても退勤時刻がなかなか早まらないのが現状です。こうした状況で、ぜひご家庭と子どもたちにも協力いただきたいことがあります。それは、放課後の忘れ物については原則取りに来ないということです。児童が忘れ物を取りにくれば、教職員と一緒に教室まで行くのが通常です。わずかな時間であるように思われるかもしれませんが、複数の児童への対応が必要となっているのが現実であり、結果的に多くの時間が割かれています。緊急性の高いものについては対応させていただきますが、宿題等の忘れ物は自主学習などやれる学習を自分で選択して行う、体操着などを持ち帰り忘れた場合は、ジャージなど運動ができる服で代用するなど、協力をお願いしたいところです。趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【お知らせ】現在、午前5時間制をとっていますが、令和7年1月より午前4時間制の校時に変更を考えています。朝活動の時間の確保、45分集中して学ぶリズムをつくることが主目的です。登下校の時刻に大きな変化は出ない予定です。詳細は後日お伝えいたします。